

登校型授業の開始について

5月25日 東京福祉専門学校

東京福祉専門学校では、新型コロナウイルスの感染拡大の中でも、学生の皆さんの学習機会を確保するため、各学年ごとのスケジュールや時間割に沿って、6月以降もオンライン授業を継続していくことを通知していました。

緊急事態宣言の解除が見込まれる中、**6月以降は、映像配信型授業、zoomを活用したリアルタイム授業に加え、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～ver.1（文部科学省）」を参考に、対策を講じながら順次登校型授業を取り入れていきます。**

各学科・学年ごとの6月以降の時間割は、別途各LMS（moodle, Google classroom, manaba）上でお伝えします。また、登校型授業を取り入れる中でも新型コロナウイルスへの感染対策は充分に行われなければなりません。下記に現時点での学校の感染症対策と学生の皆様へのお願いをまとめました。なお、本校における感染症対策は、状況に応じて適宜見直しを図ることを予定しています。

●①～③いずれかの場合は登校せず、学校に必ず事前連絡をしてください

- ①新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合・濃厚接触者として特定された時
- ②平熱より明らかに熱っぽい（+1.0℃程度目安）強い倦怠感など体調に異常を感じた時
- ③海外から入国し2週間以内の場合（入国制限解除後に適応）

第1校舎：電話 03-3804-1517（ケアワーク学部）
第3校舎：電話 03-3804-1515（その他の学部）

上記の場合、学校の指定する方法で補習授業（オンライン授業含む）を受講することで、授業出席とみなします。その他、体調面などで登校に不安がある場合、無断欠席せずに必ず学校に事前連絡をしてください。

状況によっては、事前連絡のあった者に対して、学校の判断で上記同様の対応をとる場合があります。

●全ての学生の皆さんにお願いする感染症対策

登校時を含めて マスク着用 必須 	各校舎玄関での 検温・体調チェック 	手洗い・手指消毒の徹底 
実技・演習授業の フェイスシールド着用  学校で用意し 指示があった 時に着用します	休み時間等においても 感染を予防する行動  大人数で 群れない	学校生活以外でも 感染対策に準じた行動  感染症対策が 取れない場所 には当面の間、 行かない

●学校が行う感染症対策

「3密」の回避



- 座席は1机2名がけを避け1つの机に1名がけに
- 1教室の収容定員は通常の半分程度



- キャリアセンター・図書室等共有スペースは座席を半分程度に減らして使用
- 密になりやすいエレベーターは、原則使用せず階段を使用

手洗い環境の整備・消毒スプレー等の設置



- 玄関・教室入口に消毒スプレー設置



- ハンドソープ・ペーパータオル・消毒スプレー設置。ドアノブの定期消毒

飛沫感染の予防・換気の実施

- 授業担当講師・教員は原則フェイスシールド・マスク着用
- 教職員も原則マスク着用
- 学生窓口には透明カーテンを設置
- 授業中は原則扉を閉めず、窓を開けての換気を適宜実施（各自温度調節できる服装で登校してください）

その他



- 感染症予防啓発ポスターの掲示・呼びかけ
- 学校には医務室がありますが、体調不良者の医務室利用は感染症予防の観点から当面見合わせます。